

外航コンテナの国内フィーダ輸送実績（24年度報告）

平成24年度における外航二次コンテナ輸送量の実態調査結果は以下の通りである。

1. 調査対象会社

内航海運事業者、旅客フェリー（長距離フェリー）事業者の内、前回の調査対象会社で輸送実績のあった事業者を中心に、13社に対して調査を実施した。

(1) フィーダ・コンテナ輸送事業者

調査を依頼した13社（23年度13社）すべての事業者から有効回答を得られた。

(2) 使用船腹

使用船腹は、一般貨物船22隻（23年度20隻）、コンテナ専用船19隻（23年度21隻）、RORO船5隻（23年度4隻）、フェリー7隻（23年度5隻）、その他4隻（23年度4隻）であり、合計57隻（22年度54隻）となった。

2. 調査結果

調査結果について下記に要約する。なお、詳細を5～13頁に示す。

(1) 輸送実績

実入コンテナ	384,457 TEU	23年度(353,955TEU)対比	約 8.62% 増
		22年度(383,011TEU)対比	約 0.38% 増
空コンテナ	226,798 TEU	23年度(227,522TEU)対比	約 0.32% 減
		22年度(236,021TEU)対比	約 3.91% 減
総計	611,255 TEU	23年度(581,477TEU)対比	約 5.12% 増
		22年度(619,032TEU)対比	約 1.26% 減

(2) 積地・揚地別輸送量

平成24年度における積地別の輸送量は、関西（約186千TEU、30.55%）、関東（123千TEU、20.17%）、中国（72千TEU、11.83%）、中部（62千TEU、10.21%）、四国（56千TEU、9.22%）、東北（50千TEU、8.19%）、九州（41千TEU、6.78%）、北海道（18千TEU、3.04%）の順であり、揚地別の輸送量は、関西（約177千TEU、29.07%）、関東（124千TEU、20.37%）、中国（75千TEU、12.41%）、中部（67千TEU、11.10%）、東北（52千TEU、8.66%）、四国（49千TEU、8.15%）、九州（44千TEU、7.38%）、北海道（17千TEU、2.90%）、沖縄（0.3千TEU、0.05%）の順となった。

なお、前年を 100%として前年度と比較したところ、増加したのは、積地では北海道（167.0%）、東北（135.0%）、中部（125.7%）、関東（114.3%）、四国（109.8%）
揚地では北海道（141.8%）、関東（133.8%）、東北（127.1%）、四国（113.7%）であった。

一方、減少した地域は、積地で九州（86, 4.％）、中国（88.7%）、関西（95.8%）。
揚地では中国（90.1%）、関西（92.6%）、九州（95.3%）であった。

(3) 地域間流動

平成 24 年度における地域間の流動量は、関西／中国・四国の間及び関東／中部・東北の間で多く、概ね過去と同様の傾向にあるが、前年度実績との比較から、関西／四国の間及び関東／中部・東北の間ではそれぞれ増加し、関西／関西・中国・九州の間では減少した。

① 実入、空コンテナ別の地域間流動

実入コンテナの積量は、関西、関東、中国、中部、四国の順で多く、空コンテナの積量は、関西、関東、四国が多い。

実入コンテナの揚量は、関西、関東、東北が多く、空コンテナの揚量は、中国、関西、中部の順が多い。

② 20、40 フィート (ft) 別の地域間流動

20ft コンテナの積量は、関西、四国、中国、関東の順で多く、40ft コンテナの積量は、関西、関東、中国、中部の順が多い。

20ft コンテナの揚量は、関西、四国、中国、関東の順で多く、40ft コンテナの揚量は、関西、関東、中部、中国の順が多い。

(4) 今期の特記事項

平成 24 年度の特徴として、まず挙げられる事は、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により、被災地港湾の使用不能期間があった事から、平成 23 年度には東北地方での取扱量が著しく減少したが、その後の港湾等のインフラの復旧により、平成 24 年度は東北地方のコンテナ輸送が増加したことである。平成 24 年度において、東北発着の内航フィーダー・コンテナは積みが前年度比 35%増、揚げが 27%増であった。

しかし震災前の平成 22 年度と比べると、全国総計では 1%減であるのに対して、東北では積みが 10%減、揚げが 5%減と全国を下回っている。同様の傾向は、通関統計においても岩手、宮城、福島の前被災 3 県を中心に見られ、東北の輸出入貨物量が、依然として震災前の水準には戻っていないことを示していると言えよう。

震災関連以外では、昨年度報告の本欄で、外航コンテナ船社が新たに結成した G6 アライアンス（Hapag-Lloyd、OOCL、日本郵船、APL、商船三井、現代商船）につ

いて言及したところである。すなわち、平成 24 年 3 月以降、G6 アライアンスが運営する 6 つの航路（ループ）のうち、日本に寄港するのは 1 ループだけとなったことから、内航フィーダーの輸送量に影響が出る可能性があるということである。この点に関して平成 24 年度の輸送総量で見ると、前年比で 5% 増加しているが、一見、影響は出ていないように見受けられるが、地域ごとに詳細を見ると様相は異なる。

本報告書 10 ページに掲載した積港・揚港の地域別流動比率にあるように、九州、中国地方では平成 24 年度の積みが前期比でそれぞれ 13.6% 減と 11.3% 減となり、関西でも 4.2% 減少した、また揚げでは中国の 9.9% 減を筆頭に、関西が 7.4% 減、九州が 4.7% 減となっている。これから勘案すれば、九州や中国地方発着で、内航フィーダーにより阪神で接続される輸出入コンテナが大幅に減少している実態が浮かび上がる。事業者の見方では、日本発着の輸出入コンテナ自体は減っていないものの、日本に寄港する外航母船数が減少しているため、溢れたコンテナが韓国釜山に流出し、同地で外航母船に接続しているという。換言すれば、アライアンスの再編成による外航母船の寄港減と、釜山へのコンテナ流出は表裏一体の問題と考えられるのではないかと。

2014 年には Maersk、MCS、CMA-CGM が新たにアライアンス「P3 ネットワーク」を結成して、新サービスを開始する予定であり、日本抜港と釜山へのコンテナ流失の動きが更に加速することが懸念される。国が進めてきた国際コンテナ戦略港湾政策にとって黄信号とも言うべき事態である。本年、国土交通省において、港湾政策の深化と取り組みの加速を図るべく、国際コンテナ戦略港湾政策推進委員会が設けられたところであり、抜本的な対策が求められる。

最後に、今期に特有の事象ではないが、実入りコンテナと空コンテナの動向について触れたい。平成 24 年度の輸送実績は、実入りコンテナ 384,457 TEU に対して、空コンテナはその 6 割の 226,798 TEU であるが、前年度と比較した増減では、実入りコンテナが 8.6% 増であったのに対して、空コンテナは 0.3% 減となっている。空コンテナの減少は昨年度に続いて 2 年連続であり、平成 17 年度～24 年度の 8 年度中、4 年度で同様に減少している。

このような空コンテナの減少は単なる偶然ではなく、外航船社の以下の動向が要因と考えられる。すなわち、①空コンテナ回送を極力減らして実入りで輸送しようとするマッチングの努力、②空コンテナの回送費用の抑制のため、自社の母船で沿岸特許輸送する動き、③韓国や中国など恒常的に空コンテナ不足になっている地域への、日韓、日中フィーダーによる回送。空コンテナの減少傾向は今後も続くと思われ、引続き注目したい。

平成24年度内航船による外航コンテナフィーダー輸送量実績調査

[会社名及び使用船舶一覧表]

会社名	使用船舶		
	船種	船型(G/T)	隻数
近海郵船(株)	コンテナ専用船	749	1
大王海運(株)	一般貨物船	499	1
ナラサキスタックス(株)	コンテナ専用船	749	1
井本商運(株)	コンテナ専用船	749	9
	コンテナ専用船	748	1
	コンテナ専用船	499	4
	一般貨物船	499	1
	一般貨物船	498	3
	一般貨物船	498	2
	コンテナ専用船	498	1
マツダロシスティクス(株)	コンテナ専用船	498	1
	一般貨物船	498	1
鈴与海運(株)	一般貨物船	499	7
	一般貨物船	499	1
南日本汽船(株)	一般貨物船	499	3
日本通運(株)	一般貨物船	7,323	2
	RORO船	7,754	1
	RORO船	10,470	4
(株)ユニエックス	その他	585	1
	その他	548	1
阪九フェリー(株)	フェリー	13,353	2
	フェリー	15,188	2
横浜コンテナライン(株)	コンテナ専用船	749	1
四国開発フェリー(株)	フェリー	9,917	1
	フェリー	9,975	1
	フェリー	15,732	1
西日本内航フィーダー(合)	一般貨物船	499	1
	その他	2,378	1
	その他	2,361	1
	一般貨物船		22
	コンテナ専用船		19
	RORO船		5
	その他		4
	フェリー		7
	合計		57

内航船による外航コンテナフィーダ輸送量 平成24年度実績

[積地別]

積地	実入コンテナ			空コンテナ			合計			%
	20'	40'	TEU	20'	40'	TEU	20'	40'	TEU	
北海道	798	2,542	5,882	1,241	5,738	12,717	2,039	8,280	18,599	3.04%
東北	3,462	15,112	33,686	1,986	7,203	16,392	5,448	22,315	50,078	8.19%
関東	9,576	35,733	81,042	5,229	18,523	42,275	14,805	54,256	123,317	20.17%
中部	7,461	24,037	55,535	2,178	2,353	6,884	9,639	26,390	62,419	10.21%
関西	18,443	31,743	81,929	30,337	37,234	104,805	48,780	68,977	186,734	30.55%
四国	17,829	9,179	36,187	4,760	7,700	20,160	22,589	16,879	56,347	9.22%
中国	13,939	24,023	61,985	2,509	3,907	10,323	16,448	27,930	72,308	11.83%
九州	5,037	11,587	28,211	6,402	3,420	13,242	11,439	15,007	41,453	6.78%
沖縄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%

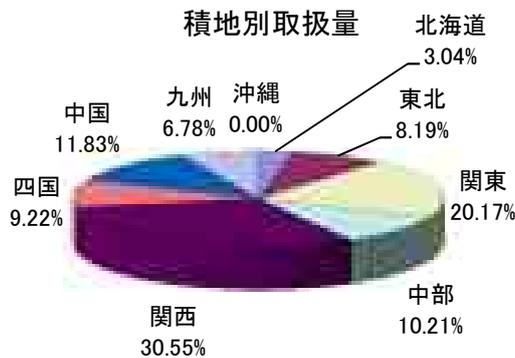
総計	76,545	153,956	384,457	54,642	86,078	226,798	131,187	240,034	611,255	100%
----	--------	---------	---------	--------	--------	---------	---------	---------	---------	------

[地域別]

- 北海道：北海道
- 東北：青森、岩手、宮城、福島
- 関東：東京、神奈川、茨城、千葉
- 中部：静岡、愛知、三重
- 関西：大阪、兵庫、和歌山
- 四国：香川、愛媛、徳島
- 中国：広島、岡山、山口
- 九州：福岡、大分、宮崎

[積地港別]

- 北海道：苫小牧
- 東北：仙台、小名浜、八戸、釜石、相馬、宮古
- 関東：東京、横浜、川崎、常陸那珂、鹿島
- 中部：名古屋、清水、御前崎、豊橋、四日市
- 関西：神戸、大阪、姫路、泉大津、和歌山、
- 四国：今治、松山、新居浜、徳島、伊予三島、三島川の江、東予、高松
- 中国：水島、徳山、広島、岩国、防府、宇部、玉島、大竹、徳山
- 九州：博多、大分、志布志、ひびき、門司、細島、新門司、油津、八代



内航船による外航コンテナフィーダ輸送量 平成24年度実績

[揚地別]

揚地	実入コンテナ			空コンテナ			合計			%
	20'	40'	TEU	20'	40'	TEU	20'	40'	TEU	
北海道	2,271	7,088	16,447	290	508	1,306	2,561	7,596	17,753	2.90%
東北	3,086	16,182	35,450	3,004	7,241	17,486	6,090	23,423	52,936	8.66%
関東	13,101	41,166	95,433	3,394	12,847	29,088	16,495	54,013	124,521	20.37%
中部	4,399	12,859	30,117	2,549	17,580	37,709	6,948	30,439	67,826	11.10%
関西	36,212	50,224	136,660	13,423	13,801	41,025	49,635	64,025	177,685	29.07%
四国	5,453	7,801	21,055	16,648	6,072	28,792	22,101	13,873	49,847	8.15%
中国	5,826	9,506	24,838	12,630	19,208	51,046	18,456	28,714	75,884	12.41%
九州	6,054	9,049	24,152	2,704	8,821	20,346	8,758	17,870	44,498	7.38%
沖縄	143	81	305	0	0	0	143	81	305	0.05%

総計	76,545	153,956	384,457	54,642	86,078	226,798	131,187	240,034	611,255	100%
----	--------	---------	---------	--------	--------	---------	---------	---------	---------	------

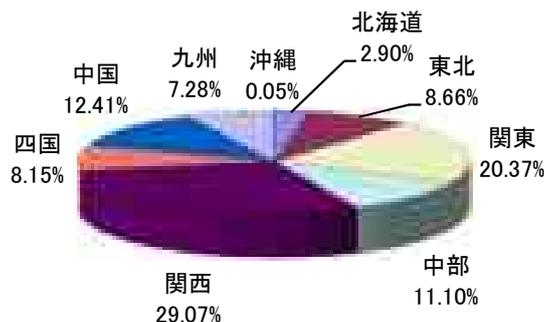
[地域別]

- 北海道：北海道
- 東北：青森、宮城、福島、岩手、秋田
- 関東：東京、神奈川、茨城、千葉
- 中部：静岡、愛知、三重、福井
- 関西：大阪、兵庫、和歌山
- 四国：香川、愛媛、徳島
- 中国：広島、岡山、山口
- 九州：福岡、大分、宮崎、沖縄
- 沖縄：沖縄

[揚地港別]

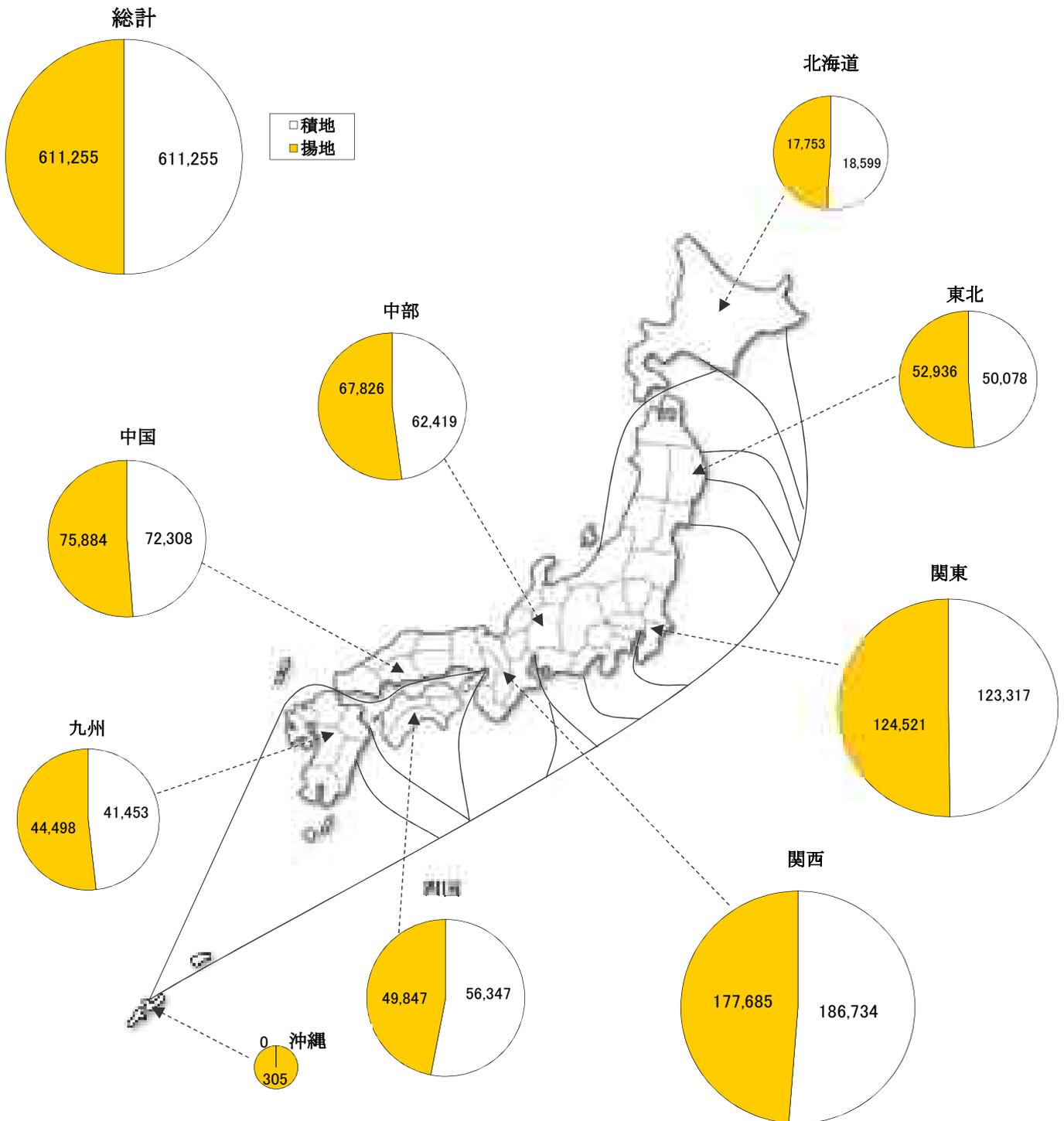
- 北海道：苫小牧
- 東北：仙台、小名浜、八戸、相馬、釜石、宮古
- 関東：東京、横浜、川崎、常陸那珂、鹿島
- 中部：名古屋、清水、御前崎、豊橋、四日市
- 関西：神戸、大阪、姫路、泉大津、和歌山
- 四国：今治、松山、新居浜、徳島、伊予三島、高松
- 中国：水島、徳山、広島、岩国、防府、宇部、玉島、大竹、福山
- 九州：博多、大分、志布志、ひびき、門司、細島、新門司、八代、油津
- 沖縄：那覇

揚地別取扱量



内航フィーダー網及び輸送量

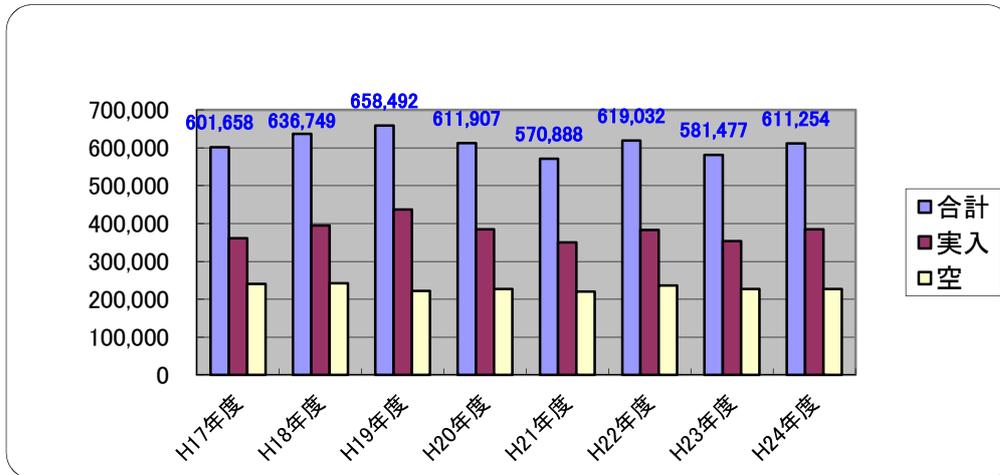
(内航船による外航コンテナ二次輸送量 平成24年度実績)



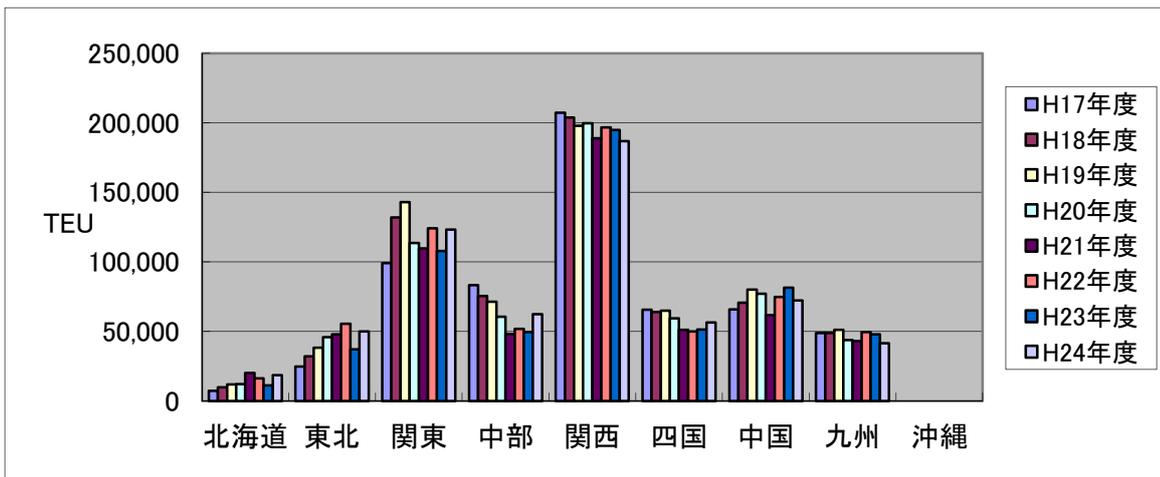
注1. 国内の二次コンテナ輸送のための積・揚総量(through put)は、1,222,510TEUとなる。

注2. 輸送実績は内航船及びフェリー船によるもので、特許により外航船による輸送量は含まれていない。

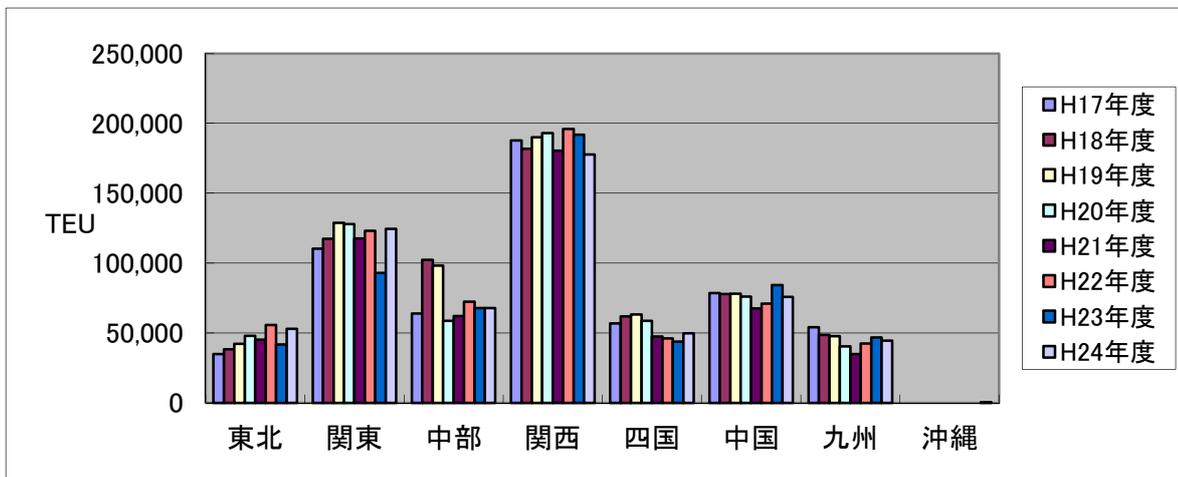
内航船による外航コンテナフィーダ輸送量比較(実績ベース)



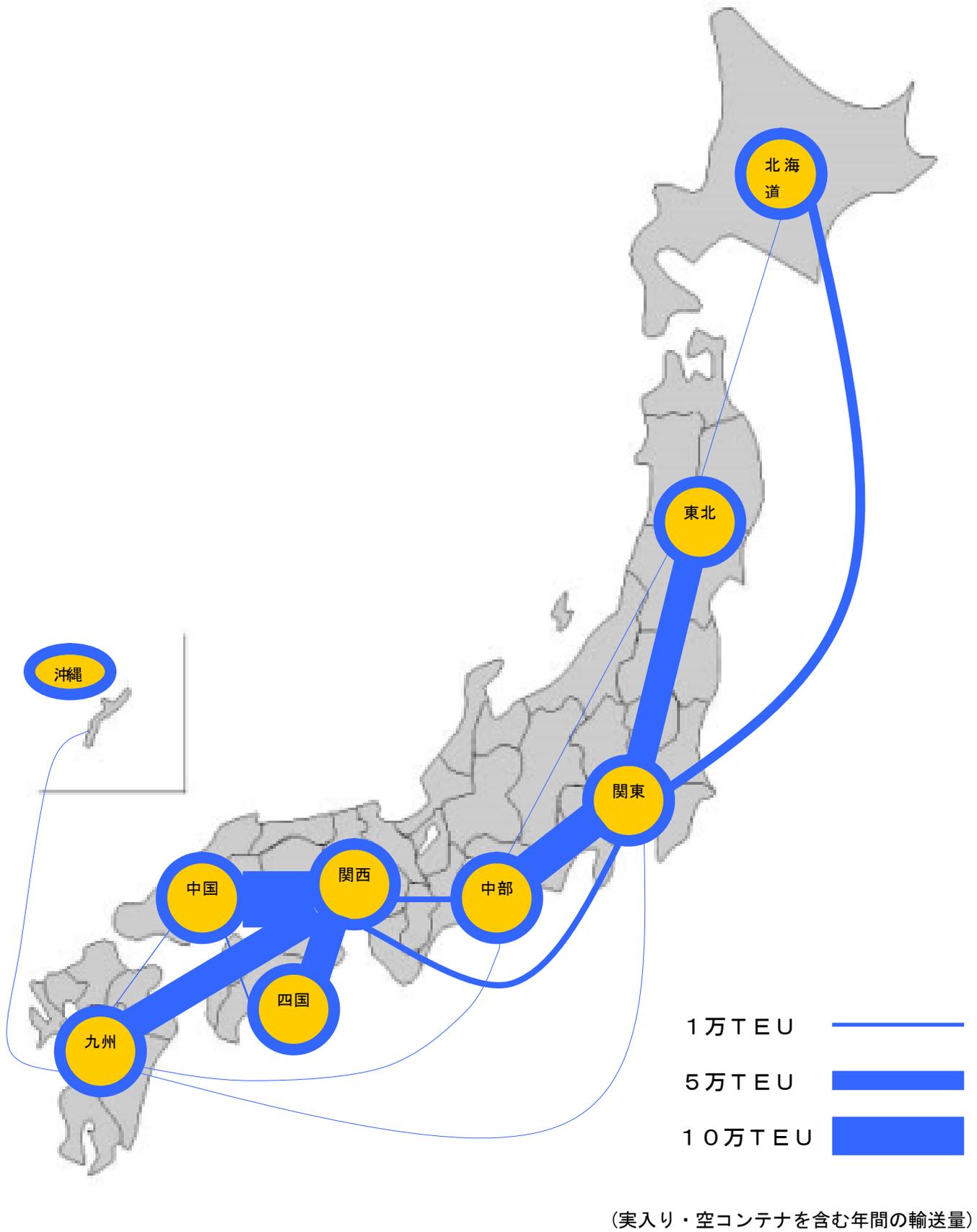
積地による年度増減推移



揚地による年度増減推移



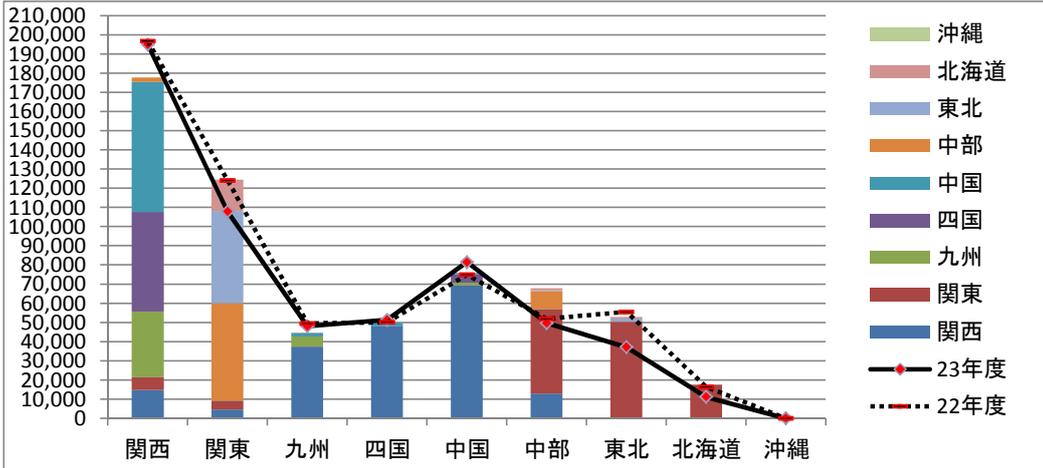
内航フィーダコンテナの主な地域間流動（平成24年度）



地域間流動比較(総計TEU)

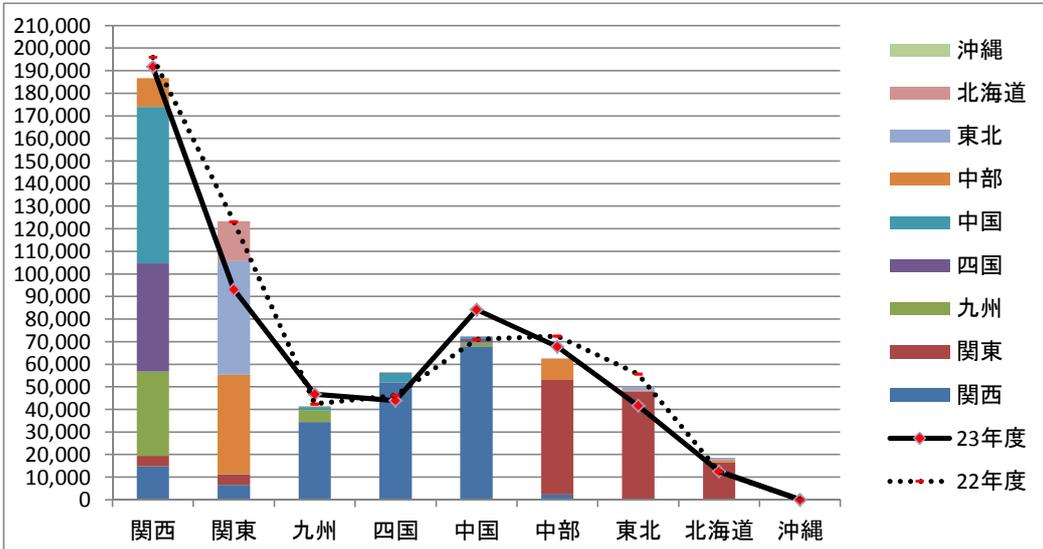
1. 積港地域別流動比較

積地	合計(24年度)	合計(23年度)	参考 合計(22年度)	合計対前年比 (TEU)	合計コンテナ 対前年比(%)
北海道	18,599	11,137	16,324	7,462	167.0%
東北	50,078	37,093	55,452	12,985	135.0%
関東	123,317	107,865	124,087	15,452	114.3%
中部	62,419	49,649	51,922	12,770	125.7%
関西	186,734	194,938	196,751	▲ 8,204	95.8%
四国	56,347	51,308	50,077	5,039	109.8%
中国	72,308	81,510	74,863	▲ 9,202	88.7%
九州	41,453	47,977	49,556	▲ 6,524	86.4%
沖縄	0	0	0	0	—
総計	611,255	581,477	619,032	29,778	105.1%



2. 揚港地域別流動比較

揚地	合計(24年度)	合計(23年度)	参考 合計(22年度)	合計対前年比 (TEU)	合計コンテナ 対前年比(%)
北海道	17,753	12,517	12,419	5,236	141.8%
東北	52,936	41,648	55,592	11,288	127.1%
関東	124,521	93,047	123,067	31,474	133.8%
中部	67,826	67,745	72,441	81	100.1%
関西	177,685	191,789	195,914	▲ 14,104	92.6%
四国	49,847	43,842	46,108	6,005	113.7%
中国	75,884	84,219	71,090	▲ 8,335	90.1%
九州	44,498	46,670	42,401	▲ 2,172	95.3%
沖縄	305	0	0	305	—
総計	611,255	581,477	619,032	29,778	105.1%



地域間流動比較(実入、空TEU)

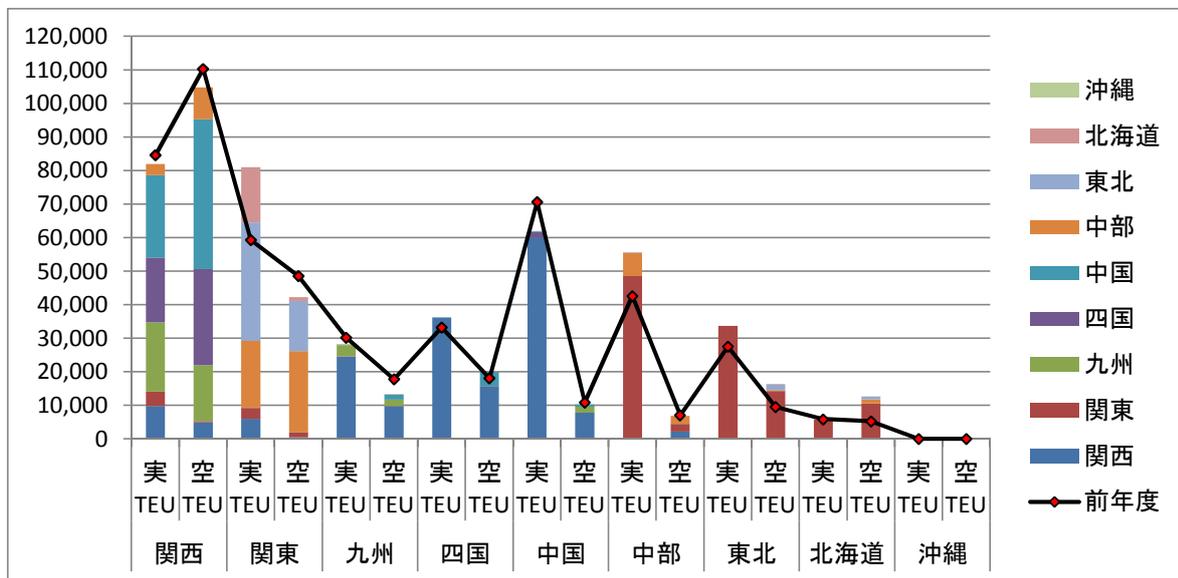
1. 積港地域別流動比較

実入コンテナ対比表

積地	合計(24年度)	合計(23年度)	合計対前年比(TEU)	合計コンテナ対前年比(%)
北海道	5,882	5,879	3	100.1%
東北	33,686	27,538	6,148	122.3%
関東	81,042	59,278	21,764	136.7%
中部	55,535	42,612	12,923	130.3%
関西	81,929	84,626	▲ 2,697	96.8%
四国	36,187	33,219	2,968	108.9%
中国	61,985	70,643	▲ 8,658	87.7%
九州	28,211	30,160	▲ 1,949	93.5%
沖縄	0	0	0	—
総計	384,457	353,955	30,502	108.6%

空コンテナ対比表

積地	合計(24年度)	合計(23年度)	合計対前年比(TEU)	合計コンテナ対前年比(%)
北海道	12,717	5,258	7,459	241.9%
東北	16,392	9,555	6,837	171.6%
関東	42,275	48,587	▲ 6,312	87.0%
中部	6,884	7,037	▲ 153	97.8%
関西	104,805	110,312	▲ 5,507	95.0%
四国	20,160	18,089	2,071	111.4%
中国	10,323	10,867	▲ 544	95.0%
九州	13,242	17,817	▲ 4,575	74.3%
沖縄	0	0	0	—
総計	226,798	227,522	▲ 724	99.7%



地域間流動比較(実入、空TEU)

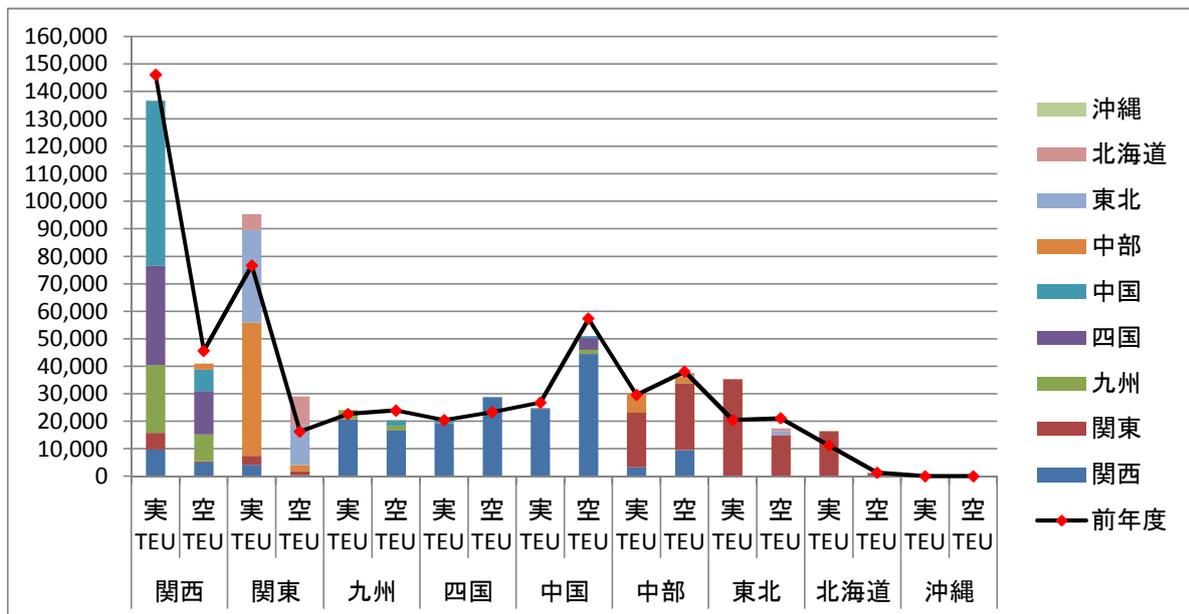
2. 揚港地域別流動比較

実入コンテナ対比表

揚 地	合 計(24年度)	合 計(23年度)	合計対前年比(TEU)	合計コンテナ 対前年比(%)
北海道	16,447	10,984	5,463	149.7%
東北	35,450	20,528	14,922	172.7%
関東	95,433	76,711	18,722	124.4%
中部	30,117	29,612	505	101.7%
関西	136,660	146,083	▲ 9,423	93.5%
四国	21,055	20,479	576	102.8%
中国	24,838	26,862	▲ 2,024	92.5%
九州	24,152	22,696	1,456	106.4%
沖縄	305	0	305	0.0%
総計	384,457	353,955	30,502	108.6%

空コンテナ対比表

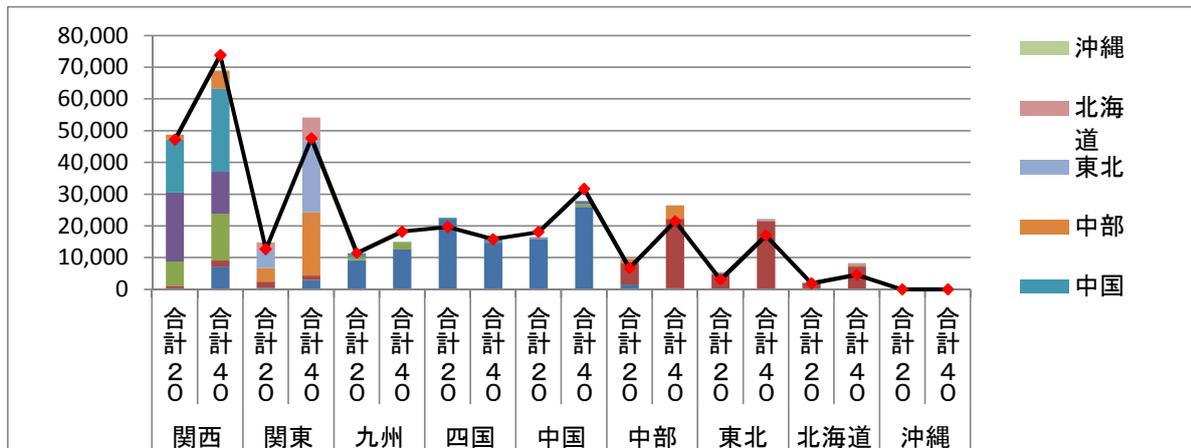
揚 地	合 計(24年度)	合 計(23年度)	合計対前年比(TEU)	合計コンテナ 対前年比(%)
北海道	1,306	1,533	▲ 227	85.2%
東北	17,486	21,120	▲ 3,634	82.8%
関東	29,088	16,336	12,752	178.1%
中部	37,709	38,133	▲ 424	98.9%
関西	41,025	45,706	▲ 4,681	89.8%
四国	28,792	23,363	5,429	123.2%
中国	51,046	57,357	▲ 6,311	89.0%
九州	20,346	23,974	▲ 3,628	84.9%
沖縄	0	0	0	—
総計	226,798	227,522	▲ 724	99.7%



地域間流動比較(20'、40')

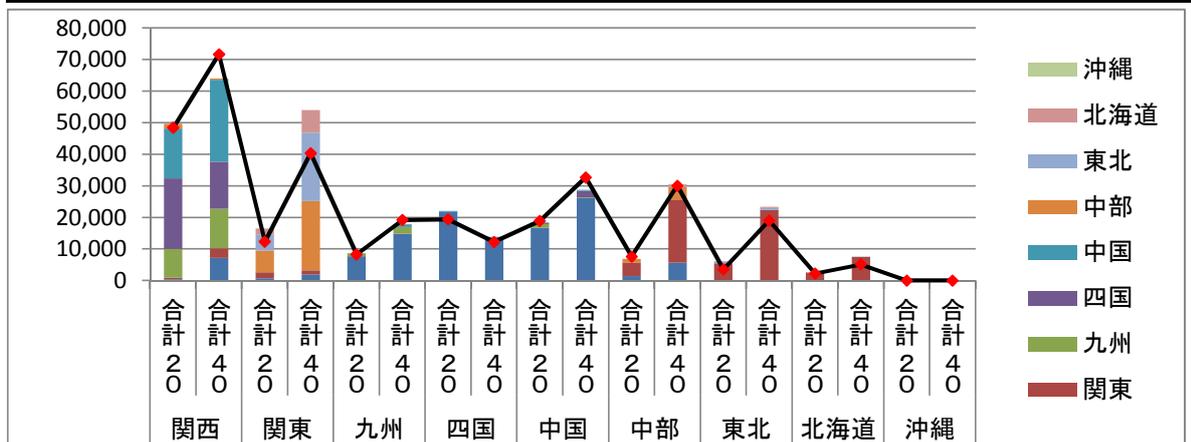
1. 積港地域別流動比較

積地	合計(24年度)		合計(23年度)		合計対前年比(本数)		合計コンテナ対前年比(%)	
	20'	40'	20'	40'	20'	40'	20'	40'
北海道	2,039	8,280	1,873	4,632	166	3,648	108.9%	178.8%
東北	5,448	22,315	3,085	17,004	2,363	5,311	176.6%	131.2%
関東	14,805	54,256	12,645	47,610	2,160	6,646	117.1%	114.0%
中部	9,639	26,390	6,729	21,460	2,910	4,930	143.2%	123.0%
関西	48,780	68,977	47,182	73,878	1,598	▲ 4,901	103.4%	93.4%
四国	22,589	16,879	19,680	15,814	2,909	1,065	114.8%	106.7%
中国	16,448	27,930	18,120	31,695	▲ 1,672	▲ 3,765	90.8%	88.1%
九州	11,439	15,007	11,455	18,261	▲ 16	▲ 3,254	99.9%	82.2%
沖縄	0	0	0	0	0	0	—	—
総計	131,187	240,034	120,769	230,354	10,418	9,680	108.6%	104.2%



2. 揚港地域別流動比較

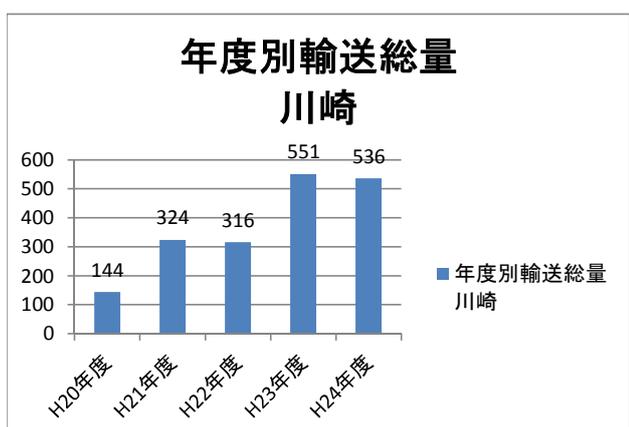
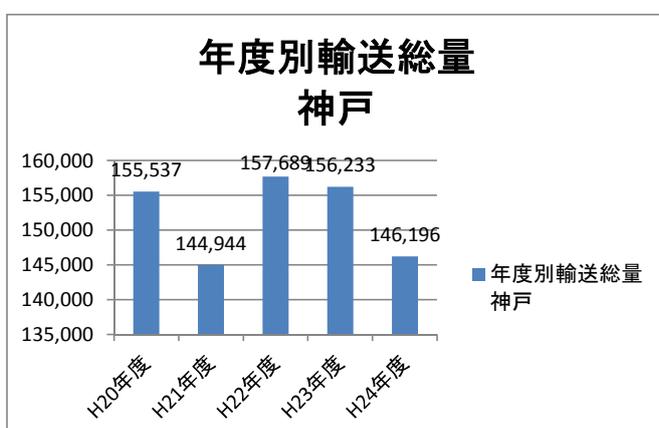
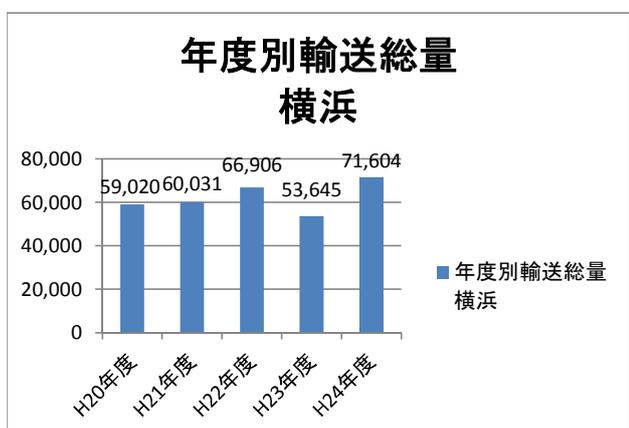
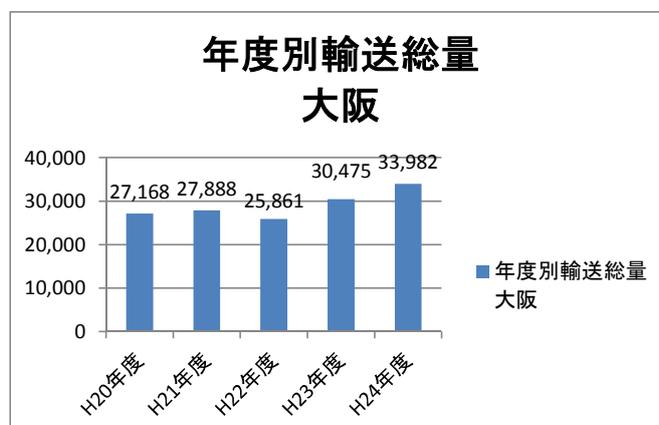
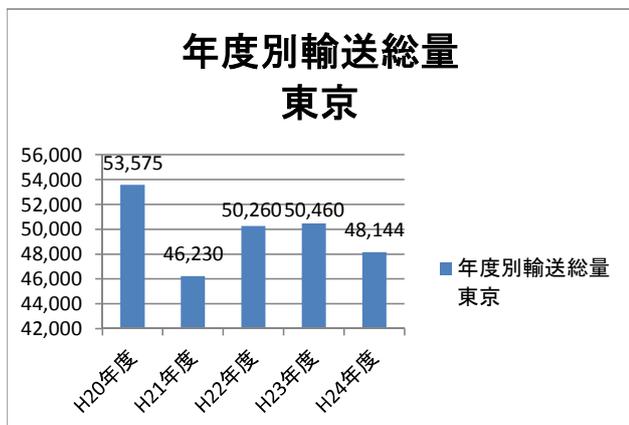
揚地	合計(24年度)		合計(23年度)		合計対前年比(本数)		合計コンテナ対前年比(%)	
	20'	40'	20'	40'	20'	40'	20'	40'
北海道	2,561	7,596	2,265	5,126	296	2,470	113.1%	148.2%
東北	6,090	23,423	3,530	19,059	2,560	4,364	172.5%	122.9%
関東	16,495	54,013	12,379	40,334	4,116	13,679	133.2%	133.9%
中部	6,948	30,439	7,589	30,078	▲ 641	361	91.6%	101.2%
関西	49,635	64,025	48,393	71,698	1,242	▲ 7,673	102.6%	89.3%
四国	22,101	13,873	19,392	12,225	2,709	1,648	114.0%	113.5%
中国	18,456	28,714	18,913	32,653	▲ 457	▲ 3,939	97.6%	87.9%
九州	8,758	17,870	8,308	19,181	450	▲ 1,311	105.4%	93.2%
沖縄	143	81	0	0	143	81	—	—
総計	131,187	240,034	120,769	230,354	10,418	9,680	108.6%	104.2%



外航コンテナ国内フィーダー輸送港湾別(国際戦略港湾) 輸送量推移表

(平成20～24年度)

積港地別



外航コンテナ国内フィーダー輸送港湾別(国際戦略港湾) 輸送量推移表

(平成20～24年度)

揚港地別

